

平成 30 年度中学生読書サポーター養成講座報告

2月23日(土)、宗像ユリックスで中学生読書サポーター養成講座を開催しました。

- ◆目的 図書館の役割や読書の楽しさ・大切さを学び、それを友だちや家族など周囲の人に伝える活動をする「読書サポーター」になることを目指す。
- ◆参加者 市立中学校及び義務教育学校後期課程の図書(文化)委員会の委員長 11 人
- ◆会場 宗像ユリックス 会議室1・2
- ◆内容

☆市川朔久子さんへの質問を考えよう

各自が考えてきた質問をカードにしてテーブルに広げ、同じような質問をまとめた後、講師への質問をひとり1問ずつ決定。

たくさんの質問があつて、自分と同じ質問を考えている人もいました。



☆市川朔久子さん講演会

市川さんが作家になるまでのエピソードや市川さんの作品、読書の意義等についてのお話を一般参加者と共に聞き、生徒からの質問に答えてもらいました。最後に市川さんを囲んで記念撮影。



市川さんが子どものころ作文が苦手だったときいてびっくりしました。

☆はがき新聞を作ろう

司書がはがき新聞について説明。その後、市川朔久子さんの作品や講演会の様子はがき新聞で作成。



☆図書委員検定

図書委員として知っていてほしい情報や図書館の役割についての問題を解いた後、司書が解説。



◆中学生読書サポーターの今後

読書サポーターは、この講座で学んだことを生かして、各学校で読書の楽しさ・大切さを広める活動を行います。そして次年度7月31日(水)に再度集まり、情報交換等を行う予定です。